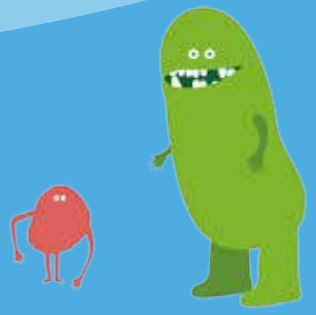
うごかす、とめる。
Nabtesco

ナブテスコ株式会社　証券コード：6268

ナブテスコ株式会社
2017年12月期第2四半期
決算説明会

2017年8月7日



当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。
当資料に掲載されている内容のうち数値は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表示しています。

上期 連結業績概況（IFRS）

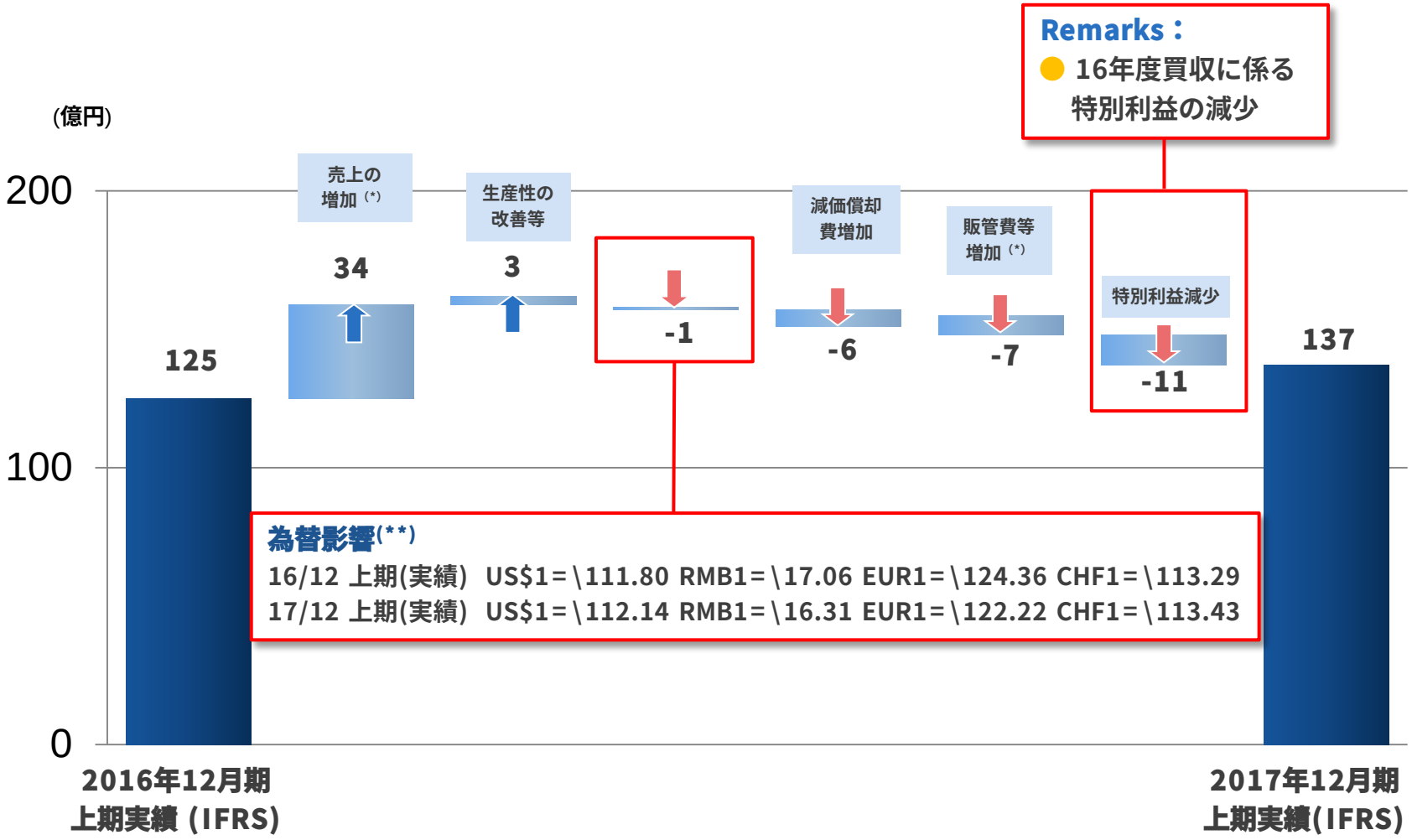
■好調な精密減速機事業及び油圧機器事業の牽引により半期ベースでは前年同期比、期首計画比ともに増収増益。過去最高の売上、利益を達成。

(単位：百万円)	2016/12 上期実績(A)	2017/12 上期計画(B) (2017/4/28時点)	2017/12 上期実績(C)	前年比増減 (C-A)	計画比増減 (C-B)
売上高	116,637	124,000	133,359	16,722	9,359
コア営業利益 *	11,297	10,600	13,866	2,568	3,266
営業利益	12,500	10,600	13,761	1,260	3,161
(営業利益率)	10.7%	8.5%	10.3%	-	-
金融損益	-1,252	-	-172	1,079	-
持分法による投資利益	480	-	3,405	2,925	-
税引前当期利益	11,728	14,000	16,993	5,265	2,993
当期利益 *	7,998	10,900	12,497	4,499	1,597
一株当たり純利益	64.75円	88.24円	101.23円	36.48円	12.99円
中間配当	24円	28円	34円	10円	6円

*コア営業利益：売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。
*当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期利益

上期連結損益実績（営業利益変動要因分析） IFRS

■CMPセグメントの売上増加により増益



* 売上の増減および販管費等の増加による営業利益の変化については為替影響を除き計算。
**為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響)：米国ドル 31百万円 人民元 108百万円、ユーロ軽微、スイスフラン軽微

BS概況（IFRS）

■成長投資を着実に実施するも、健全なバランスシートを維持

（単位：百万円）

	2016/12期末 2016年12月31日現在	2017/12期第2四半期末 2017年6月30日現在	差異
資産	256,973	281,098	24,125
（現預金等）	41,780	43,985	2,205
（営業債権）	65,569	66,089	520
（棚卸資産）	32,704	37,653	4,949
（有形固定資産）	63,155	66,669	3,514
負債	101,070	115,268	14,198
（社債及び借入金）	16,949	26,701	9,752
資本	155,904	165,830	9,926
（非支配持分）	7,974	8,227	253
親会社所有者帰属持分	147,929	157,603	9,674
親会社所有者帰属持分比率：	57.7%	56.1%	-

通期連結業績見通し（IFRS）

■好調なCMPセグメントを背景に過去最高売上高及び利益を達成見込み。

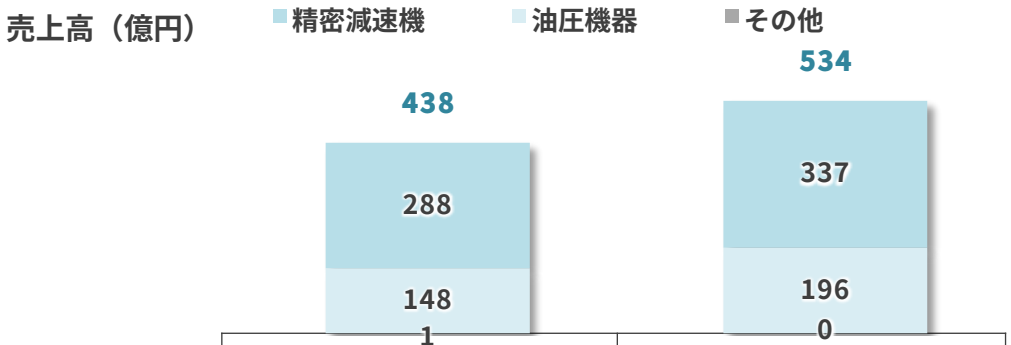
(単位：百万円)	2017/12 通期計画 (2017/4/28時点) (A)	2017/12 通期予想 (2017/7/31時点) (B)	前期比 増減額 (B-A)
売上高	260,000	273,000	13,000
営業利益	26,000	28,400	2,400
（営業利益率）	10.0%	10.4%	-
税引前当期利益	30,000	32,100	2,100
当期利益 *	22,500	23,900	1,400
ROA	8.3%	8.8%	-
ROE	14.4%	15.4%	-

一株当たり配当金	56円 (予)	68円 (予)
配当性向	30.7%(予)	35.1%(予)

*当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期利益

コンポーネントソリューションセグメント（CMP）：IFRS

上期実績　期首計画比

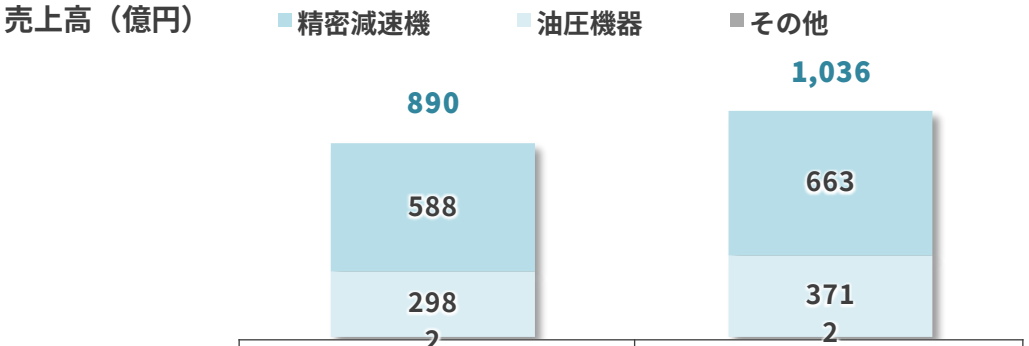


	2017年12月期 上期計画	2017年12月期 上期実績
営業利益(億円)	67	100
営業利益率	15.3%	18.8%

■売上
(精密減速機)
旺盛な産業用ロボット向け需要及び一般産業での自動化需要の伸長により大幅増収。
(油圧機器)
好調な中国建設機械市場の需要が継続し増収。

■営業利益
売上増による利益増に加え、稼働率増に伴う増益。

通期予想　期首計画比

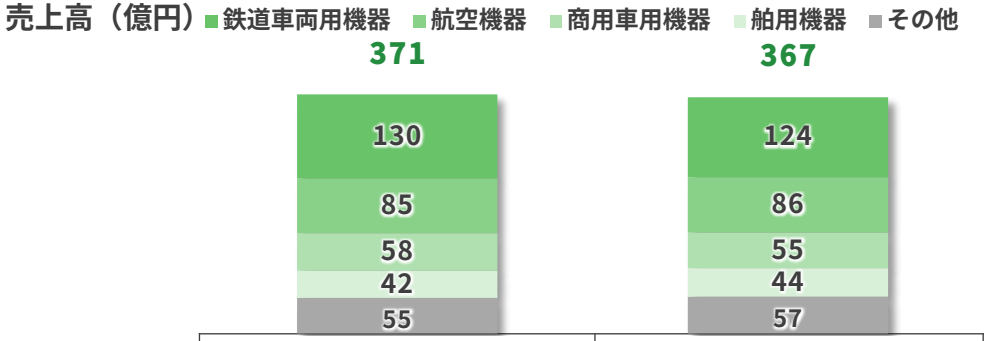


	2017年12月期 通期(期首計画)	2017年12月期 通期(7/31予想)
営業利益(億円)	137	182
営業利益率	15.4%	17.6%

(精密減速機)
上期からの好調なトレンドの継続を想定し、計画を引き上げ。
(油圧機器)
季節性はあるものの、好調な需要の継続により計画を上方修正。

トランスポートソリューションセグメント（TRS）：IFRS

上期実績　期首計画比

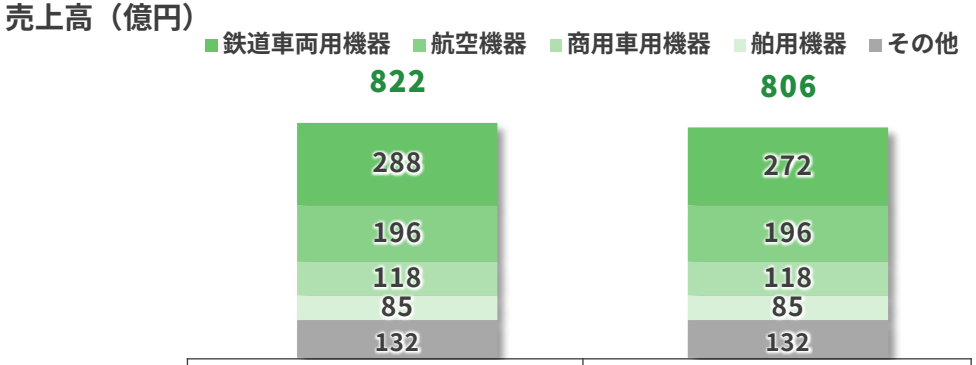


	2017年12月期 上期計画	2017年12月期 上期実績
営業利益(億円)	42	39
営業利益率	11.3%	10.6%

■売上
(鉄道車両用機器)
中国高速鉄道向けの受注低迷を受け減収。
(航空機器)
ほぼ計画通り。
(商用車用機器)
ほぼ計画通り。
(舶用機器)
想定通り造船・海運市場が低迷。

■営業利益
中国高速鉄道向け等売上減による減益。

通期予想　期首計画比



	2017年12月期 通期(期首計画)	2017年12月期 通期(7/31予想)
営業利益(億円)	115	102
営業利益率	14.0%	12.7%

(鉄道車両用機器)
中国高速鉄道向けの停滞リスクを加味し計画修正。
(航空機器)
計画通りに推移
(商用車用機器)
計画を概ね達成見込み
(舶用機器)
ほぼ計画通り

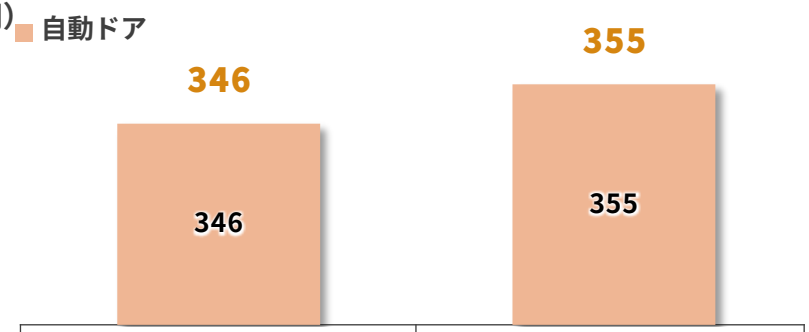
-その他:営業利益
PPA*によるOVALO社の資産償却負担増加

*PPA (Purchase Price Allocation)

アクセシビリティソリューションセグメント（ACB）：IFRS

上期実績　期首計画比

売上高（億円）



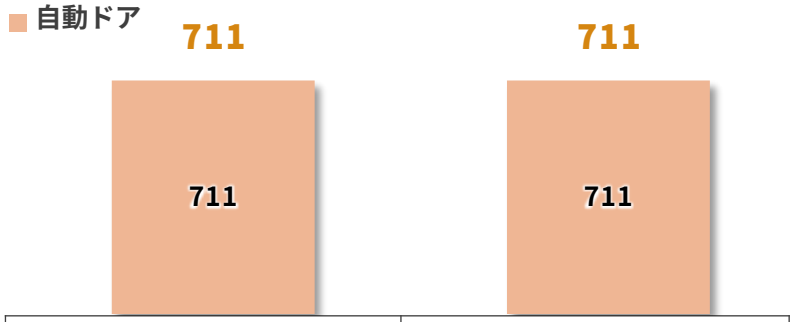
	2017年12月期 上期計画	2017年12月期 上期実績
営業利益(億円)	24	23
営業利益率	6.9%	6.5%

■売上
（自動ドア）
好調な国内市況及び為替効果により増収。

■営業利益
北米でのPMIコスト発現するも限定的。

通期予想　期首計画比

売上高（億円）

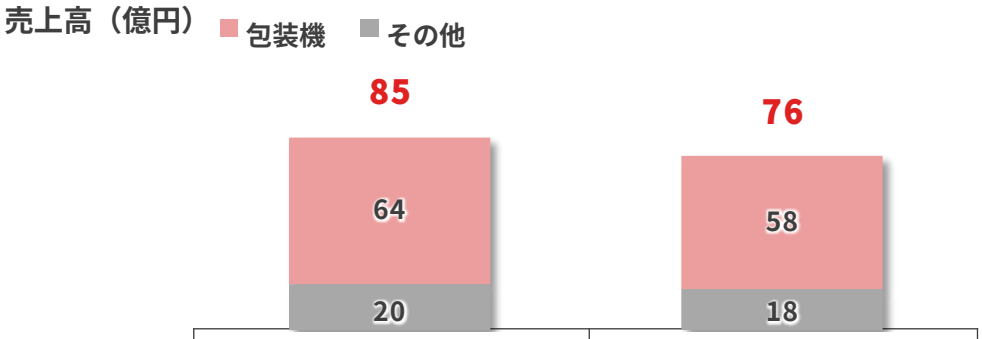


	2017年12月期 通期(期首計画)	2017年12月期 通期(7/31予想)
営業利益(億円)	58	58
営業利益率	8.2%	8.2%

（自動ドア）
上期の市況が継続し、計画に対して順調に進捗。

マニュファクチャリングソリューションセグメント（MFR）：IFRS

上期実績　期首計画比

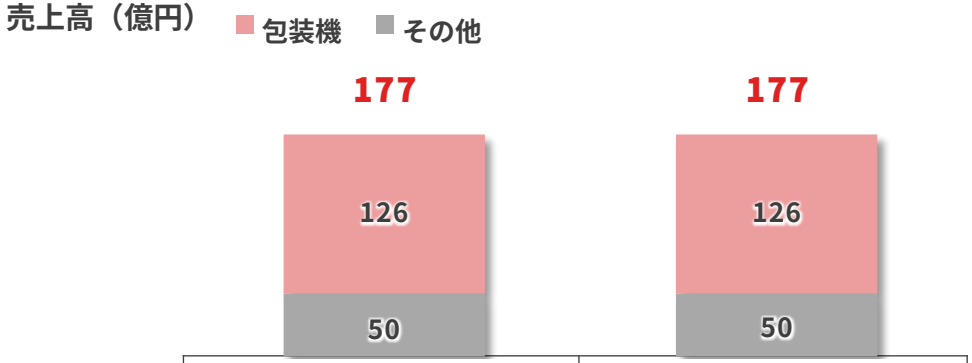


	2017年12月期 上期計画	2017年12月期 上期実績
営業利益(億円)	7	7
営業利益率	8.2%	9.0%

■売上
(包装機)
国内案件の上期検収分が下期にずれ減収。

■営業利益
製品構成差による収益性向上により計画通り。

通期予想　期首計画比



	2017年12月期 通期(期首計画)	2017年12月期 通期(7/31予想)
営業利益(億円)	16	16
営業利益率	9.0%	9.0%

(包装機)
上期のずれを吸収し、概ね計画通り進捗。

設備投資額・研究開発費・減価償却費

■将来成長のために、精密減速機および航空機器を中心に設備投資を実施。

精密減速機：日本工場及び中国工場における生産能力増強
航空機器：　新プログラムに向けた増産体制構築

(単位：百万円)	2017/12 上期実績 (A)	2017/12 通期計画 (B)	進捗率 (A/B)	2016/12 通期 実績
設備投資額	5,759	21,800	26%	14,530
研究開発費	4,073	8,700	47%	7,362
減価償却費	3,944	9,300	42%	7,406

トピックス

ESGの取り組み・評価

-2017年3月　2016 年 ボーイング サプライヤー・オブ・ザ・イヤーを受賞（環境部門）

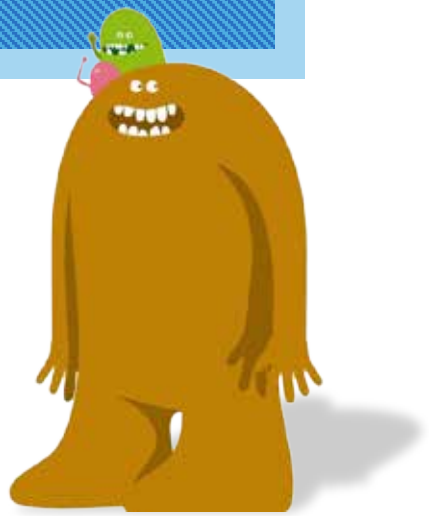
-2017年7月　GPIFが新たに採用したESG指数の構成銘柄に選定

FTSE Blossom Japan

-2017年7月　当社のCO2削減目標が「Science Based Targets (SBT)イニシアチブ」の承認を取得

-2017年8月　「業務改革推進室」を設立

Appendix

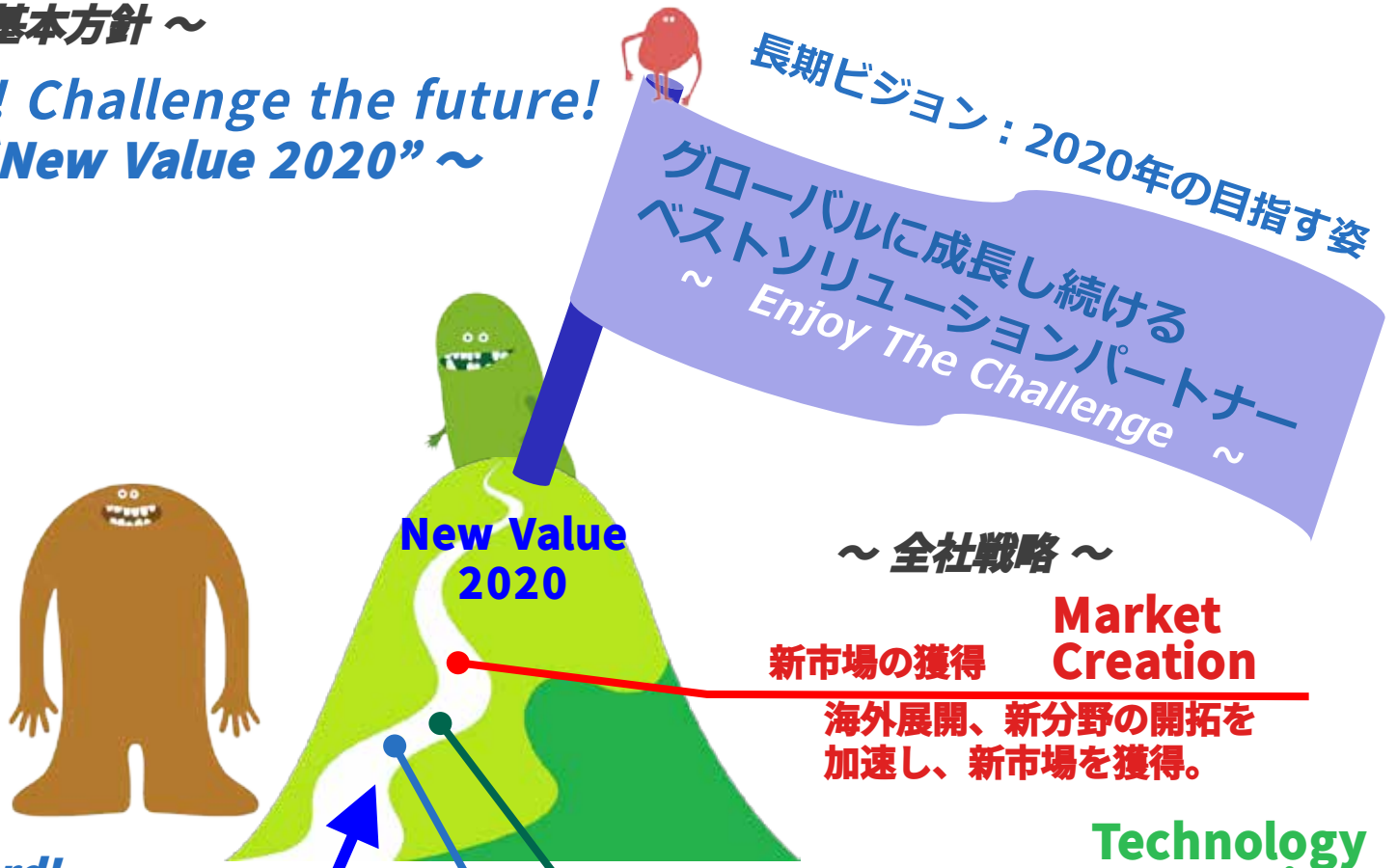


3-1. 新中期経営計画の基本方針

～ 基本方針 ～

Move forward! Challenge the future!

～ Create “New Value 2020” ～



～ 全社戦略 ～

Market Creation

新市場の獲得

海外展開、新分野の開拓を加速し、新市場を獲得。

Technology Innovation

新たなソリューションの創造

コンポーネントからシステム、サービスへと、新たなソリューションを創造。

Operational Excellence

収益性・効率性の向上

生産改革、業務改革による収益性向上と、資本効率の追求により企業価値を高める。

Move forward!

これまでの取組を推進・強化

Challenge the future!

新たな挑戦・改革

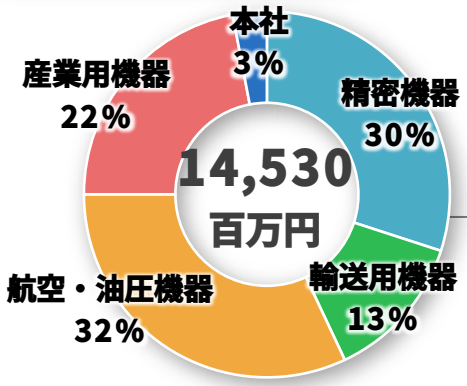
ROE15％達成

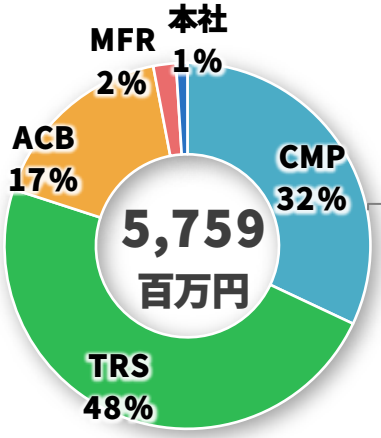
連結配当性向35％以上

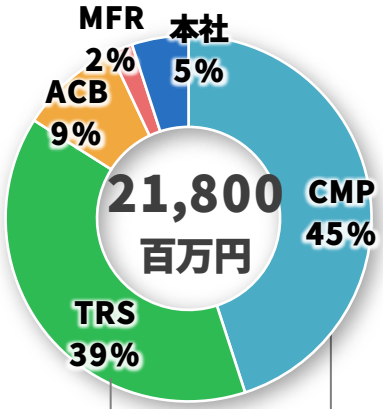
ESG課題の解決に注力

設備投資額内訳

セグメント別





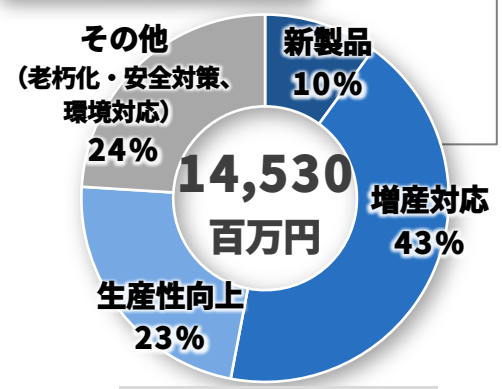


- 精密減速機
  -中国新工場設備納入等

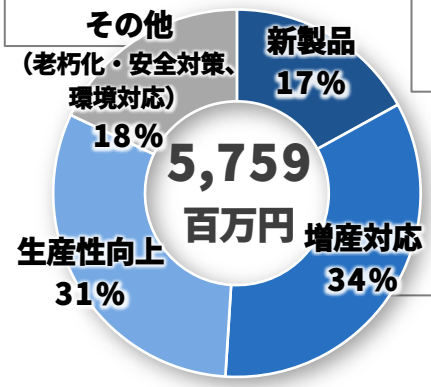
- 精密減速機
  -日本中国での増産投資
- 航空機器
  -岐阜工場設備増強

- 環境関連投資
- 研究開発関連投資

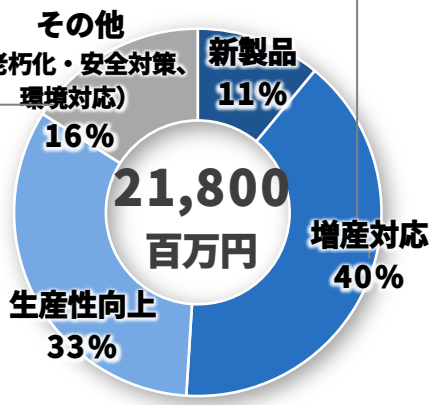
目的別



2016/12通期実績



2017/12上期実績

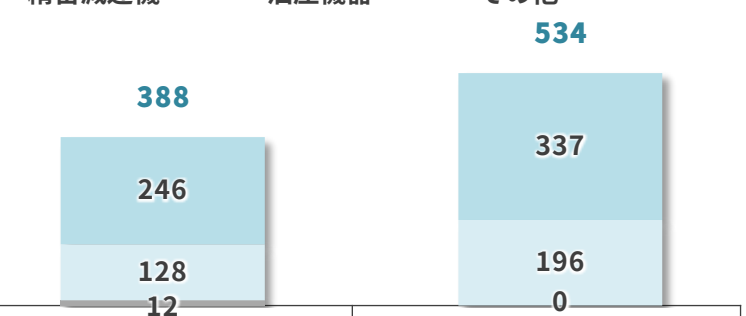


2017/12通期計画

セグメント別上期実績比較

CMP

売上高（億円）



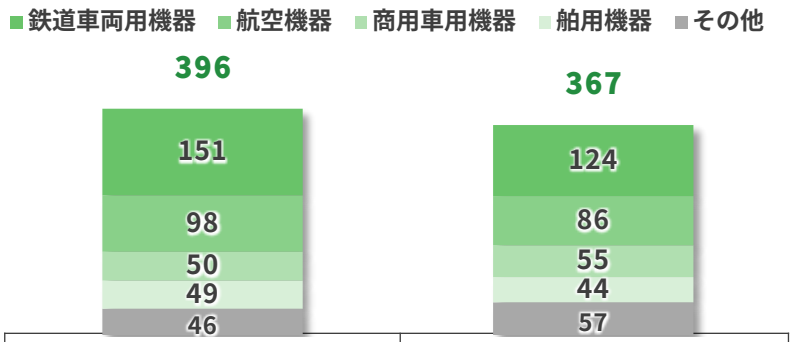
	2016年12月期 上期実績	2017年12月期 上期実績
営業利益(億円)	46	100
営業利益率	11.9%	18.8%

■売上
(精密減速機)
旺盛な産業用ロボット向け需要及び一般産業での自動化需要の伸長により大幅増収。
(油圧機器)
好調な中国建設機械市場需要により増収。

■営業利益
売上増による利益増に加え、稼働率増に伴う増益。

TRS

売上高（億円）



	2016年12月期 上期実績	2017年12月期 上期実績
営業利益(億円)	66	39
営業利益率	16.8%	10.6%

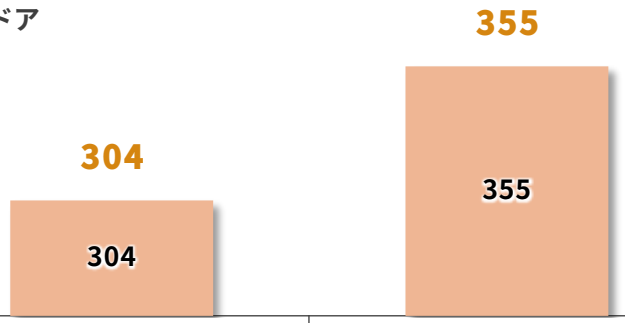
■売上
(鉄道車両用機器)
中国高速鉄道向けの受注低迷を受け減収。
(航空機器)
民間航空機向けが端境期であり減収。
(商用車用機器)
買収効果（ITG社）により増収。
(舶用機器)
造船・海運市場の低迷により減収。

■営業利益
中国高速鉄道向け等売上減による減益。

セグメント別上期実績比較

ACB

売上高（億円） ■自動ドア



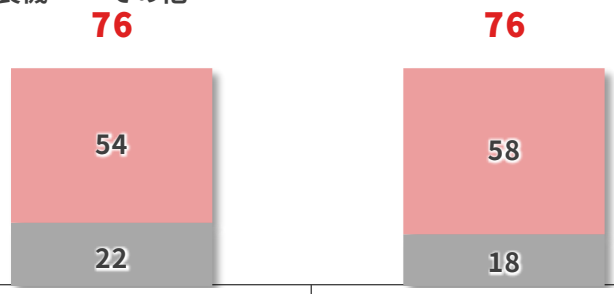
	2016年12月期 上期実績	2017年12月期 上期実績
営業利益(億円)	35	23
営業利益率	11.7%	6.5%

■売上
(自動ドア)
販売会社の連結子会社化により増収。

■営業利益
事業自体の収益性は変動がないものの、販売会社買収時の「その他収益」剥落や北米でのPMIコスト発現により減益。

MFR

売上高（億円） ■包装機 ■その他

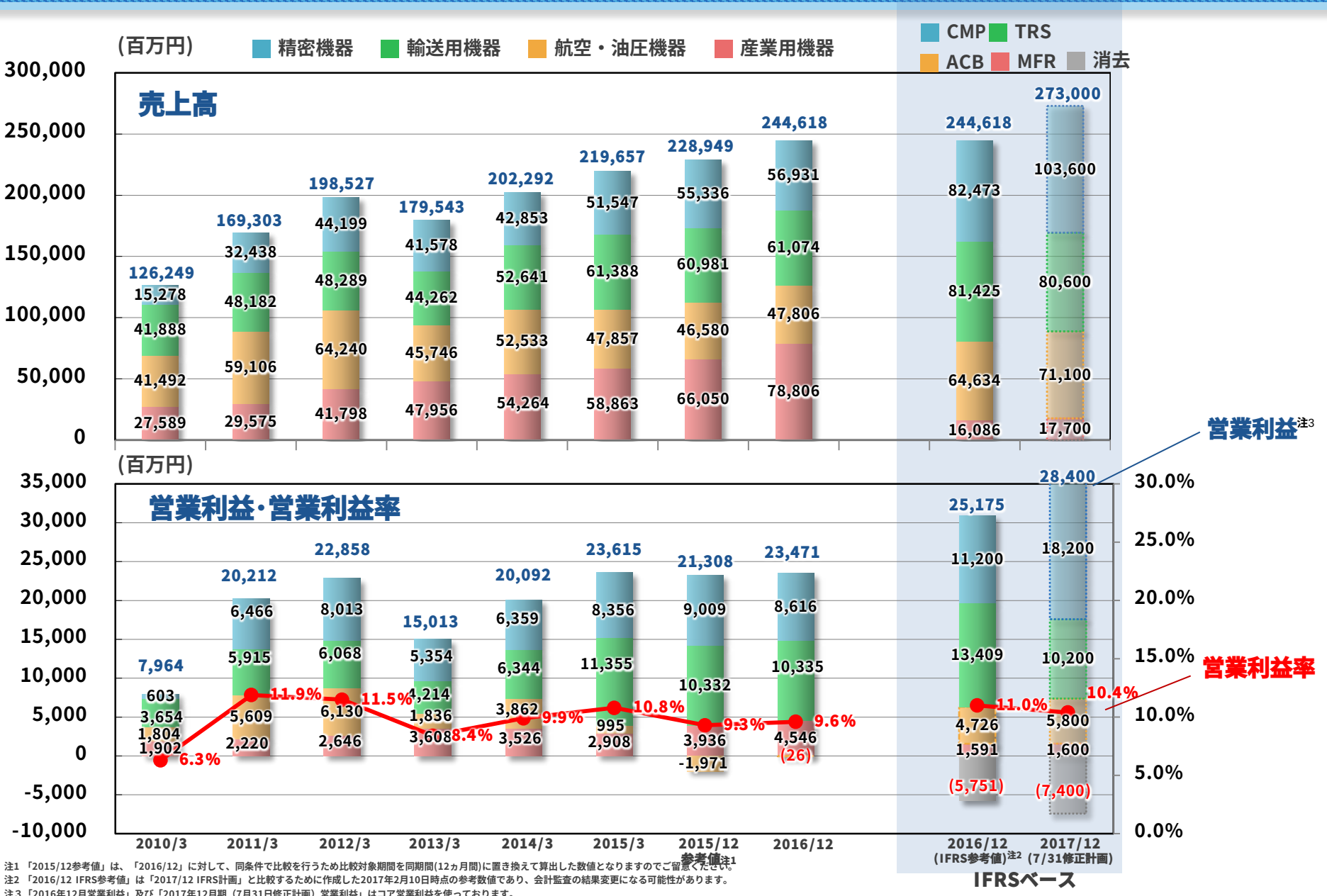


	2016年12月期 上期実績	2017年12月期 上期実績
営業利益(億円)	5	7
営業利益率	7.1%	9.0%

■売上
(包装機)
海外向けの大口案件の貢献により増収。

■営業利益
増収による増益

事業セグメント別 売上高・営業利益推移(12ヵ月)



注1 「2015/12参考値」は、「2016/12」に対して、同条件で比較を行うため比較対象期間を同期間(12ヵ月間)に置き換えて算出した数値となりますのでご留意ください。
注2 「2016/12 IFRS参考値」は「2017/12 IFRS計画」と比較するために作成した2017年2月10日時点の参考数値であり、会計監査の結果変更になる可能性があります。
注3 「2016年12月営業利益」及び「2017年12月期（7月31日修正計画）営業利益」はコア営業利益を使っております。

通期セグメント別業績概況（新セグメント:IFRS）

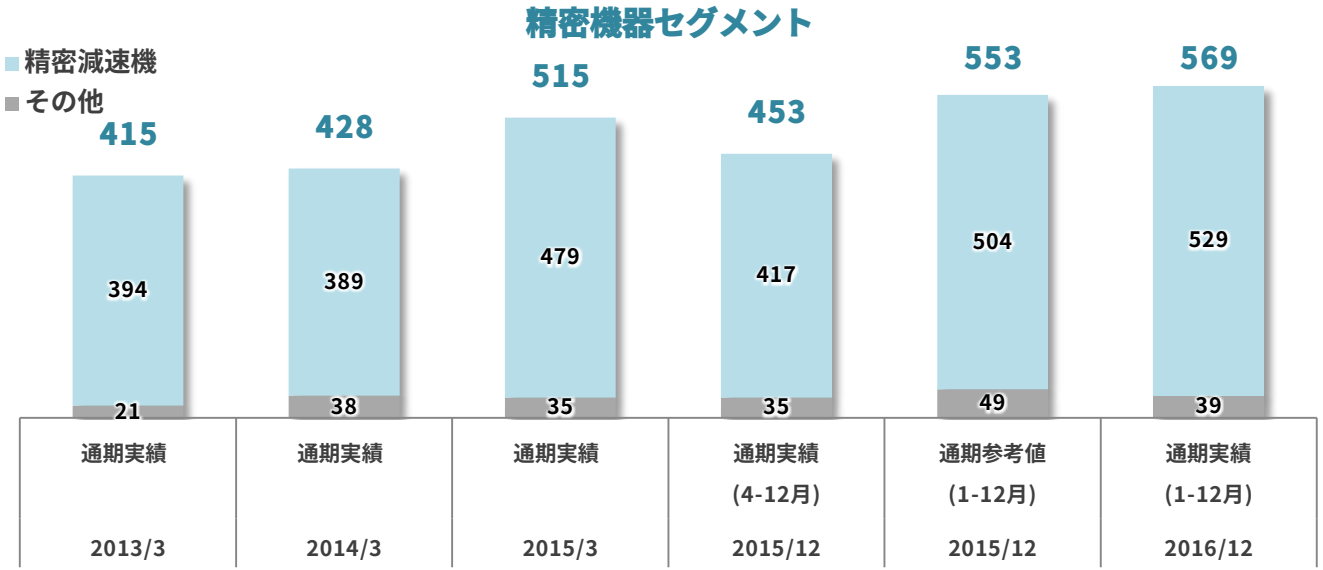
(単位：百万円) セグメント	項目	2016/12 通期実績[注1]	2017/12 通期期首計画	2017/12 通期修正計画	2020/12 中期計画参考値
コンポーネント ソリューション (CMP)	売上高	82,473	89,000	103,600	118,400
	コア営業利益 (営業利益率)	11,200 (13.6%)	13,700 (15.4%)	18,200 (17.6%)	22,200 (18.8%)
トランスポート ソリューション (TRS)	売上高	81,425	82,200	80,600	104,400
	コア営業利益 (営業利益率)	13,409 (16.5%)	11,500 (14.0%)	10,200 (12.7%)	17,200 (16.5%)
アクセシビリティ ソリューション (ACB)	売上高	64,634	71,100	71,100	79,200
	コア営業利益 (営業利益率)	4,726 (7.3%)	5,800 (8.2%)	5,800 (8.2%)	7,900 (10.0%)
マニュファクチャリング ソリューション (MFR)	売上高	16,086	17,700	17,700	27,700
	コア営業利益 (営業利益率)	1,591 (9.9%)	1,600 (9.0%)	1,600 (9.0%)	3,200 (11.6%)
全社	売上高	-	-	-	300
	全社または消去	- 5,751	-6,600	-7,400	-8,500
その他収益、費用		1,763	-	-	-
連結合計	売上高	244,618	260,000	273,000	330,000
	営業利益	25,175	26,000	28,400	42,000

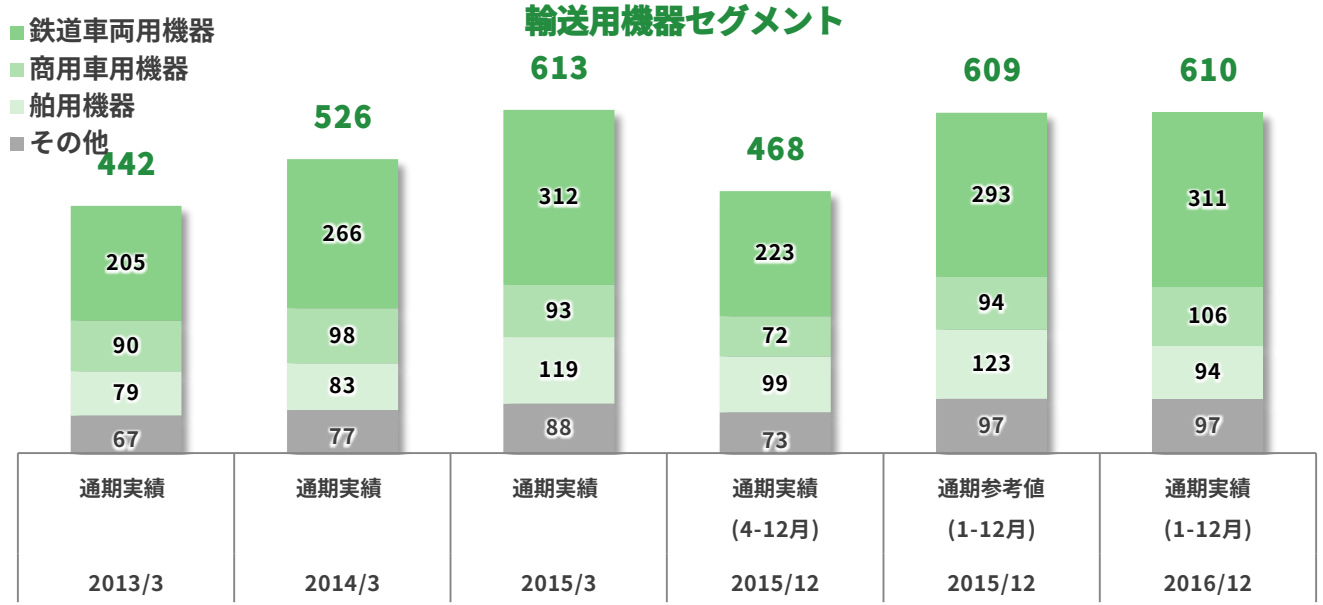
注1: 2016/12通期実績(IFRS)の値は、2017/12期(IFRS)計画と比較するために作成した2017年2月10日時点の参考数値です。会計監査の結果変更になる可能性があります。
コア営業利益：日本会計基準（JGAAP）の営業利益に対して、主にのれん償却額を戻し入れて算出しています。

上期セグメント別業績概況（新セグメント:IFRS）

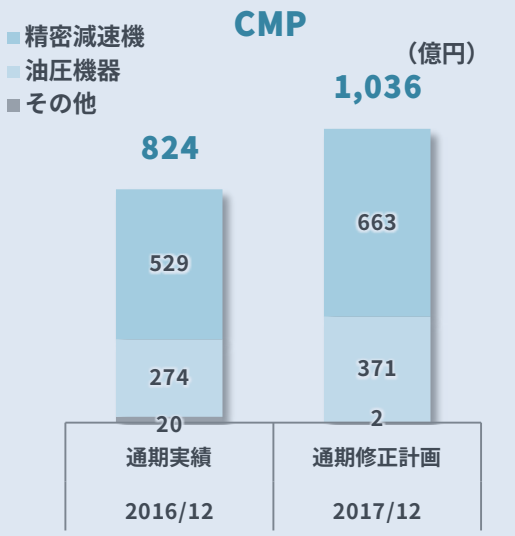
(単位：百万円) セグメント	項目	2016/12 上期実績	2017/12 上期実績	2017/12 通期修正計画
コンポーネント ソリューション (CMP)	売上高	38,817	53,412	103,600
	営業利益 (営業利益率)	4,628 (11.9%)	10,030 (18.8%)	18,200 (17.6%)
トランスポート ソリューション (TRS)	売上高	39,670	36,722	80,600
	営業利益 (営業利益率)	6,676 (16.8%)	3,900 (10.6%)	10,200 (12.7%)
アクセシビリティ ソリューション (ACB)	売上高	30,455	35,540	71,100
	営業利益 (営業利益率)	3,550 (11.7%)	2,304 (6.5%)	5,800 (8.2%)
マニュファクチャリング ソリューション (MFR)	売上高	7,696	7,684	17,700
	営業利益 (営業利益率)	550 (7.2%)	695 (9.0%)	1,600 (9.0%)
全社または消去	売上高	-	-	0
	全社または消去	- 2,904	-3,168	-7,400
連結合計	売上高	116,637	133,359	273,000
	営業利益	12,500	13,761	28,400

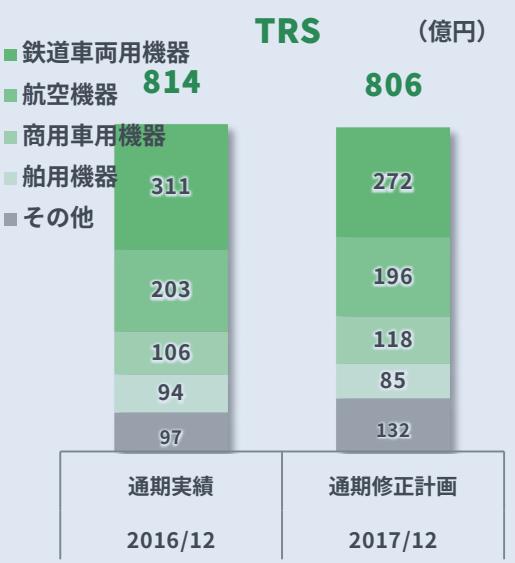
事業別 売上高推移





JGAAP

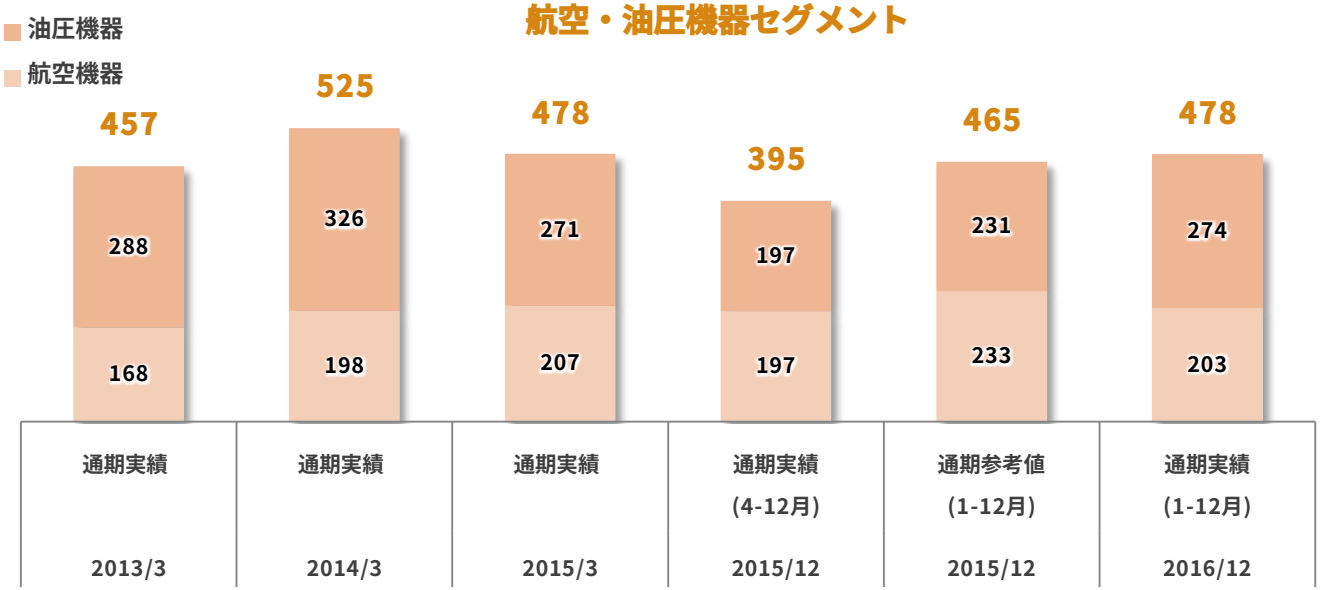




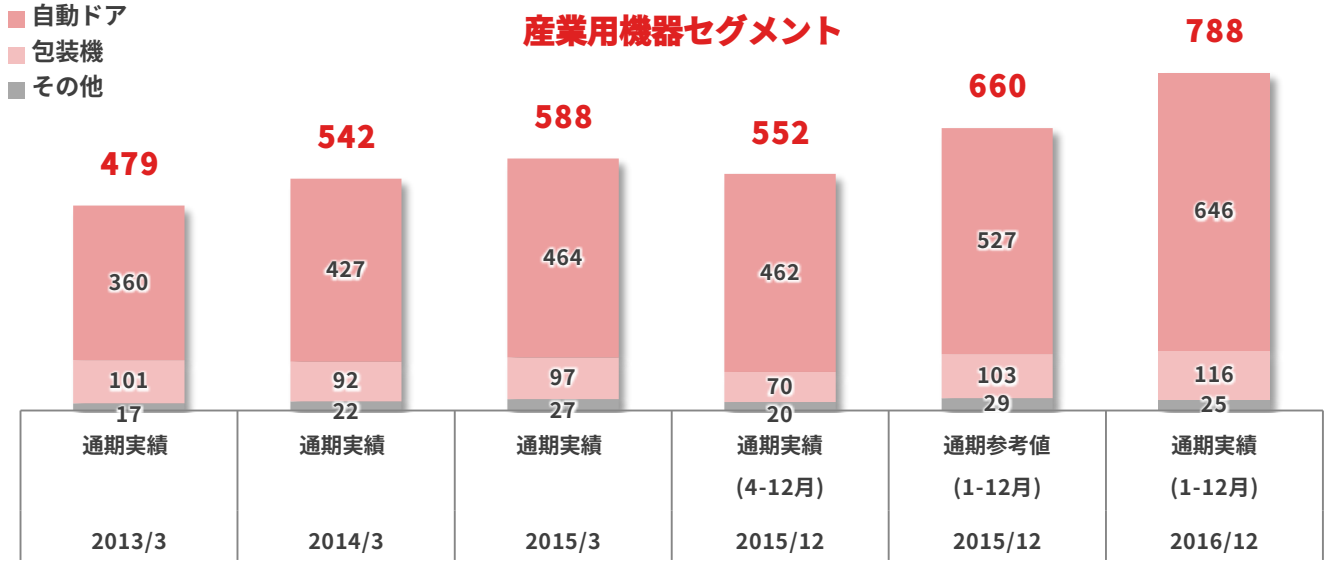
IFRS

事業別 売上高推移

航空・油圧機器セグメント



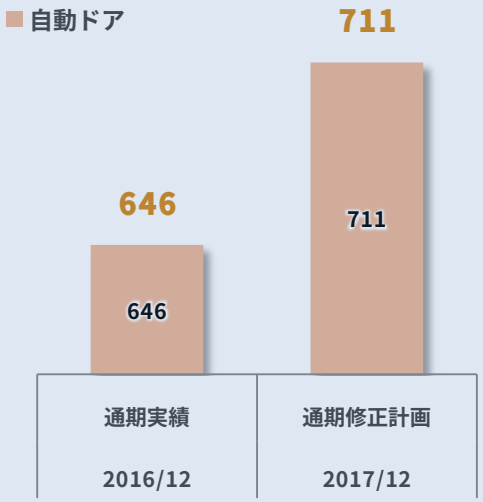
産業用機器セグメント



JGAAP

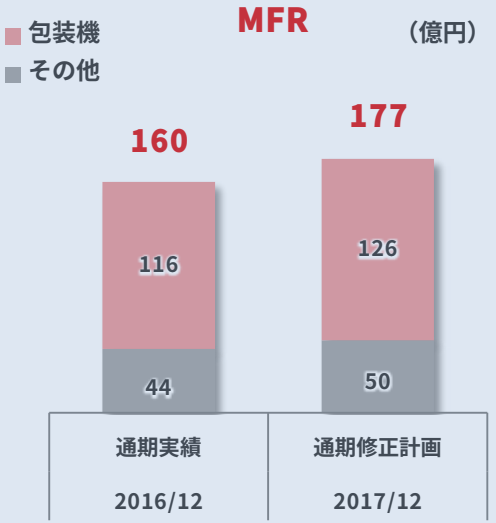
ACB

(億円)



MFR

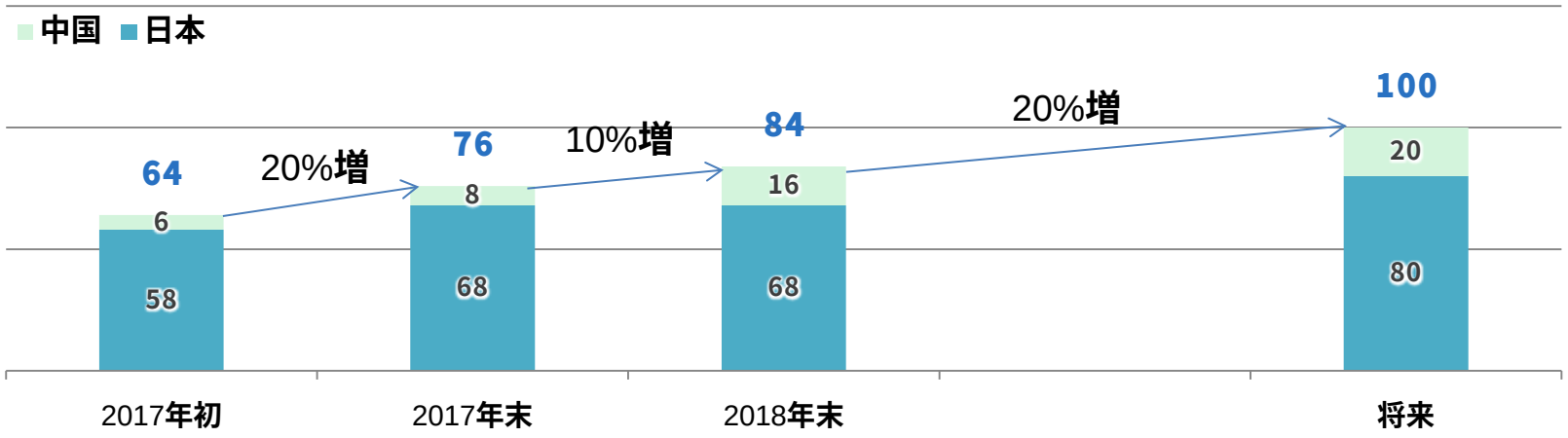
(億円)



IFRS

精密減速機　定時生産能力拡張

(年産能力：万台)



用語

CMP：コンポーネントソリューションセグメント
TRS：トランスポートソリューションセグメント
ACB：アクセシビリティソリューションセグメント
MFR：マニュファクチャリングソリューションセグメント

コア営業利益：売上高から、売上原価と販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

コンポーネントソリューションセグメント（CMP）主要製品

精密減速機

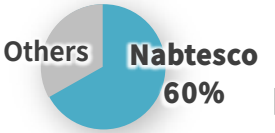
■産業用ロボットの関節用途

No.1

世界シェア約60%

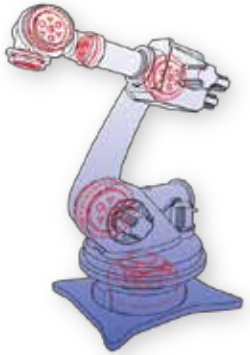
■工作機械 ATC駆動分野

(ATC = Automatic Tool Changer)



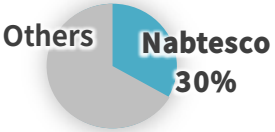
No.1

国内シェア約60%



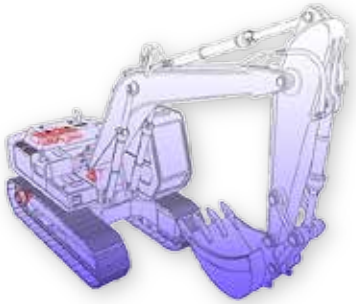
油圧機器

■パワーショベル用走行ユニット

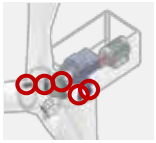


No.1

世界シェア約30%



■風力発電用駆動装置



主要顧客（敬称略）

■精密減速機

産業用ロボット： ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械： ヤマザキマザック、オークマ、 DMG森精機

■油圧機器

走行ユニット： コマツ、コベルコ建機 、住友建機、Sany、 Xu Gong、 Liu Gong

風力発電機用駆動装置： 三菱重工業、 日立製作所、他

トランスポートソリューションセグメント（TRS）主要製品

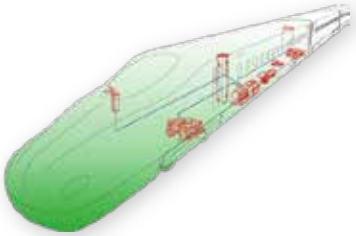
鉄道車両用機器

■鉄道車両用ブレーキシステム

No.1　国内シェア約50%

■鉄道車両用ドア開閉装置

No.1　国内シェア約70%

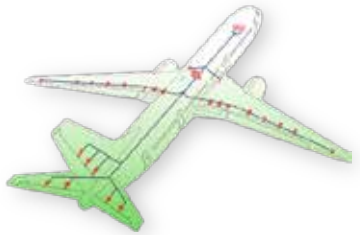


航空機器

■フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

- FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- エンジン補機、電源システム等へも事業展開

No.1
FCAの国産機
シェア約100%



主要顧客（敬称略）

■鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

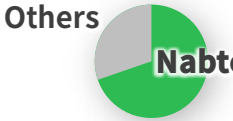
■航空機器

Boeing (米)、 川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

トランスポートソリューションセグメント（TRS）主要製品

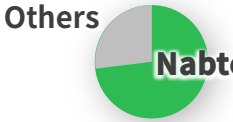
商用車用機器

■商用車用ウェッジチャンバー



No.1　国内シェア約70%

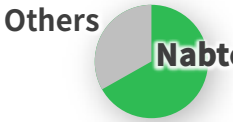
■商用車用エアドライヤー



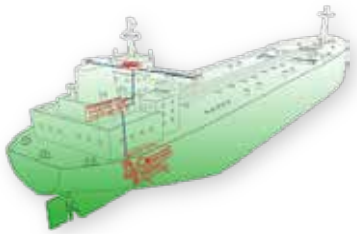
No.1　国内シェア約85%

舶用機器

■舶用エンジン遠隔制御システム



No.1　国内シェア約60%
(世界シェア約40%)



主要顧客（敬称略）

■商用車用機器

日野自動車、いすゞ自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

■舶用機器

川崎重工業、三井造船、（株）マキタ、日立造船、三菱重工業、
Hyundai Heavy Industries (韓)、 Doosan Engine (韓)、 Hudong Heavy Machinary (中) 、MAN Diesel (デンマーク)

アクセシビリティソリューションセグメント（ACB）主要製品

自動ドア

■自動ドア開閉装置

■プラットホームスクリーンドア

主要顧客（敬称略）

■自動ドア

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関

プラットホームドア：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

マニュファクチャリングソリューションセグメント（MFR）主要製品

包装機

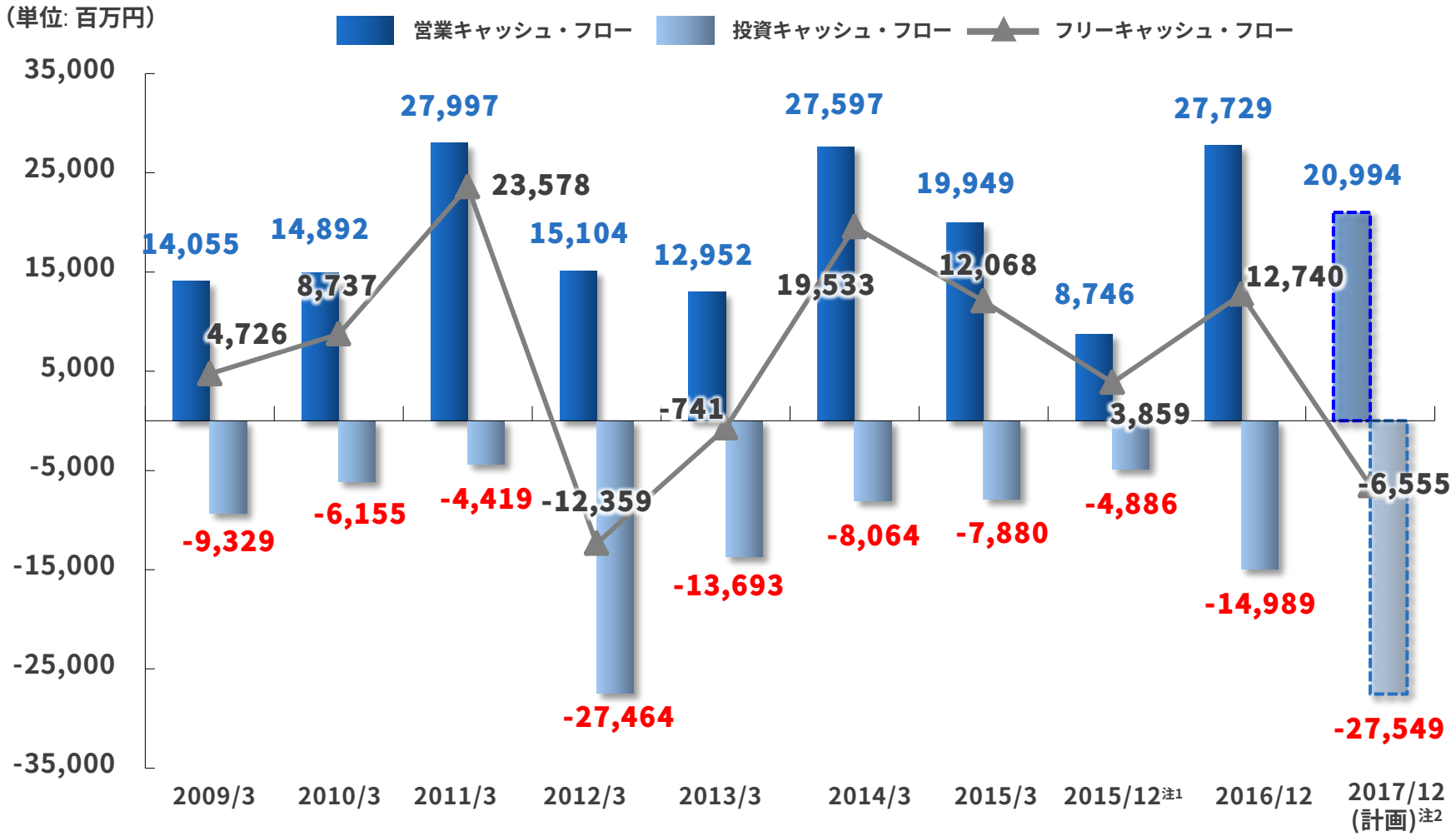
■レトルト食品用充填包装機

主要顧客（敬称略）

■包装機

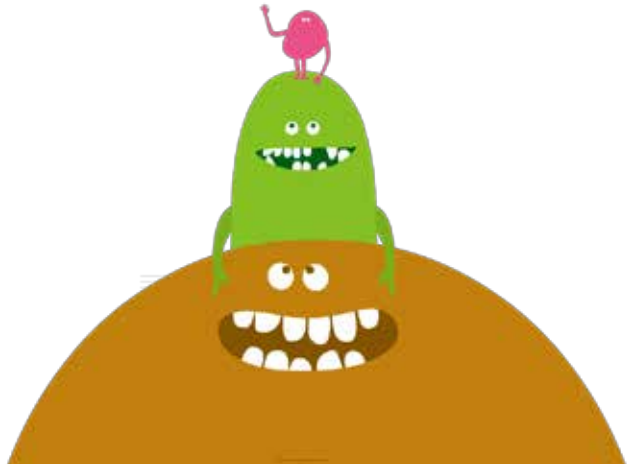
三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

連結キャッシュ・フロー



注1「2015年12月期実績(参考値)」として示す業績数値は、「2016年12月期実績(1-12月)」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となりますのでご留意下さい。

注2 持分法子会社利益の変動要素を除いた形で比較するため2017年2月10日時点の計画値を使用しています。

うごかす、とめる。

Nabtesco